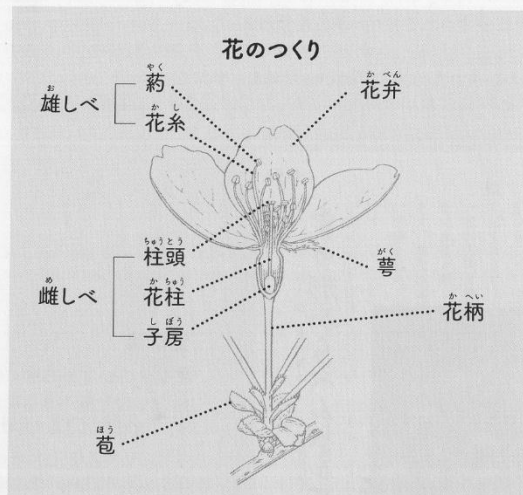
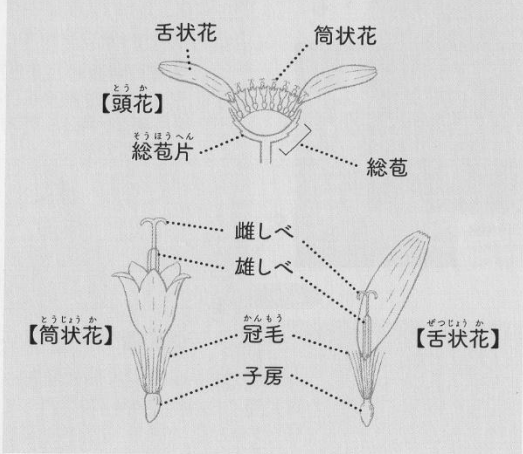


小錦草、春紫菀、姫女菀、シャガ、タカサゴユリ、母子草、「傍食(かたばみ)」、「犬蓼(いぬたで)」、水引、ヒメツルソバ、ムラサキカタバミ、ホトケノザ、白粉花、ナガミヒナゲシ、

花の各部名称

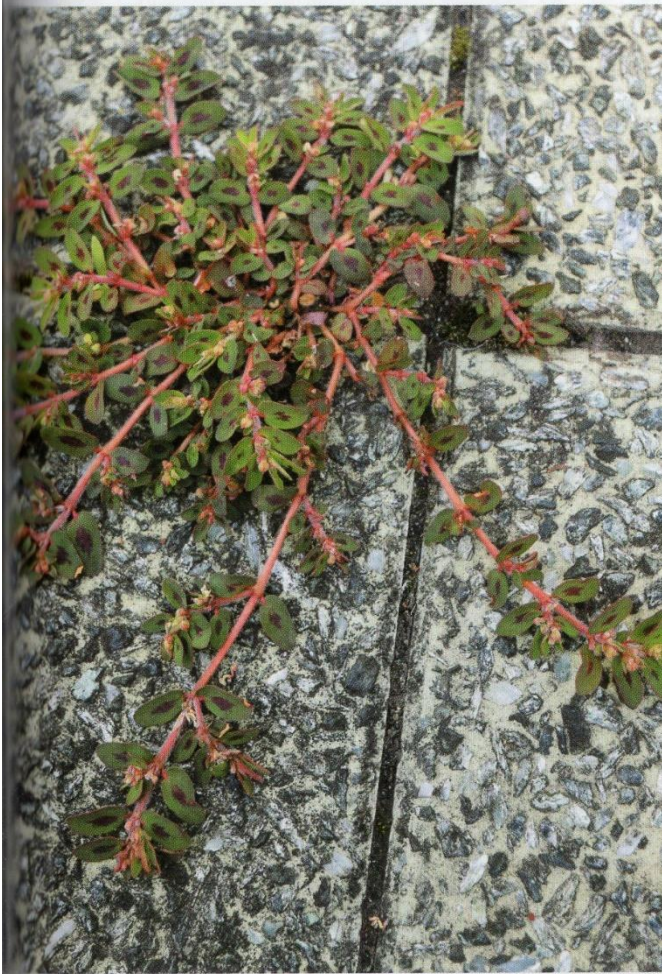


キク科の頭花



コニシキソウ

Euphorbia maculata



これでも花は満開。道端から畑までよく生える。

赤い茎と緑の葉のコントラストが織物のよう→小錦草
茎を切断すると乳液。



〈右〉コニシキソウの花。〈中〉茎を切断すると出てくる乳液。〈左〉オオニシキソウ：花。子房

ハルジオン

Erigeron philadelphicus



春の街なかのコンクリートの割れ目からでも伸びて咲く。

ヒメジョオン

Erigeron annuus



空き地があればさっと入り込み、すぐにお花畑になってしまう。

ハルジオン春紫菀：春に咲く小さな紫色の花のキク（菀）。菀は漢語でキク。

ヒメジョオン姫女菀：お姫様のように小さいキク。

シャガ
Iris japonica



シャガの群落。暗い場所を好む。

日本にあるシャガは全て種子ができません。株分けで増えていった。

タカサゴユリ

Lilium formosanum



タカサゴユリは花の外側に赤紫色の筋が入り、葉が細い。



〈右〉まだ若い蕾は下を向く。〈中〉果実とたくさんの羽根つき種子。〈左〉シンテッポウユリに近く、白い花の個体。

自分の花粉で受粉する自家受粉ができる。種子は発芽してその年に花を咲かせることができる。タカサゴユリは、花の外に赤紫色の筋が入る。



ハハコグサ

Pseudognaphalium affine



コンクリートの隙間で群落になったハハコグサ。

春の七草の一つで「おぎょう」「ごぎょう」と呼ばれています。若い茎や葉を七草粥に入れて食べます。

カタバミ
Oxalis corniculata



葉は横に這うように伸びるが、立ち上がることも。



〈右〉花は全体に黄色。〈中〉葉の形はハート型。〈左〉オオキバナカタバミ: 大型で、一つの花茎から一度に数多くの花が咲く。

葉の一部が窪んでおり、これを片方食べられたという意味で「傍食(かたばみ)」となりました。

イヌタデ

Panicum longisetum



田なかではよわよわしいが、里山の草地などでは群落になる。

葉に辛味がなく、役に立たないという意味で「犬蓼」。

ズヒキ

Pentstemon filiformis



もずかに暗い環境を好み、群落をなすことも多い。



〈右〉赤と白の重
化がはっきりわか
る花。〈左〉果実の
先端が鉤状に曲
がり、動物の毛や
どにひっかかる。

花は十字に分かれ上が赤色、下が白色で、これを紅白の紙ひも「水引」にたとえたのが名前の由来。

ヒメツルソバ

Erigeria capitata



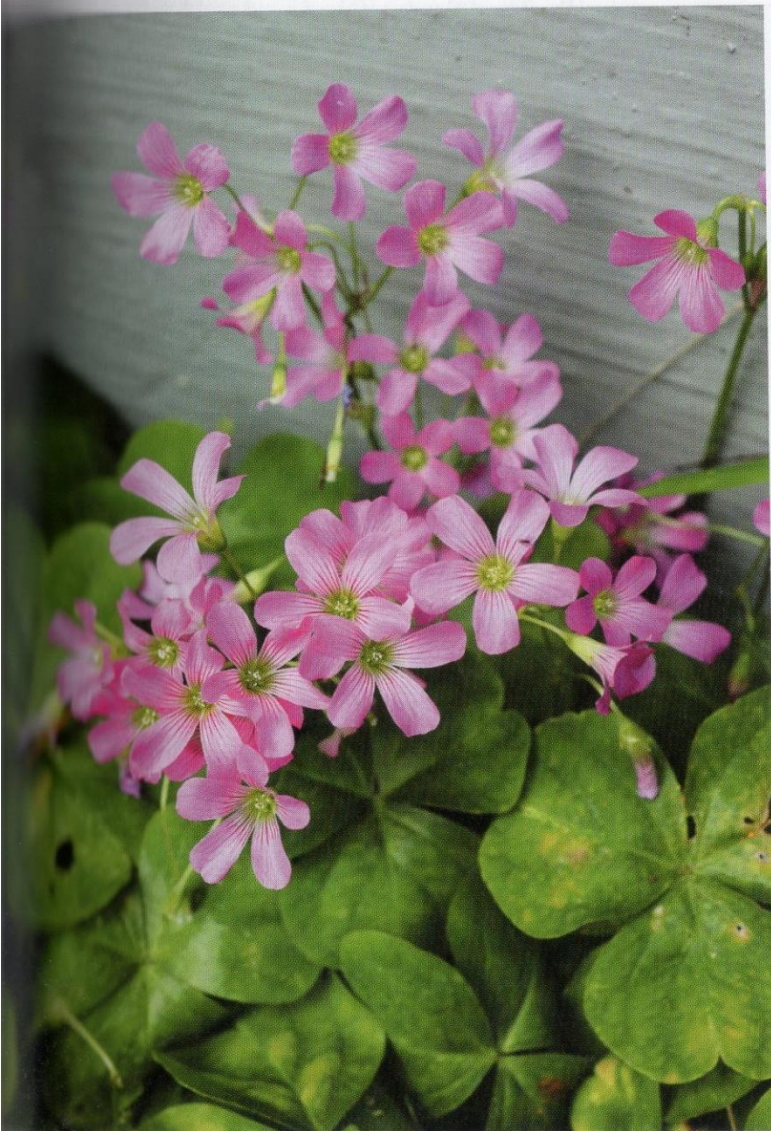
根を伸ばして、都会の街角で増えていく。



〈右〉ほとんどが蕾か、花が終わった状態のことが多いが、珍しくよく咲いた金平糖のような花。〈左〉葉には模様がある。

ムラサキカタバミ

Oxalis debilis subsp. corymbosa



個体差があり、多少花色は濃淡がある。

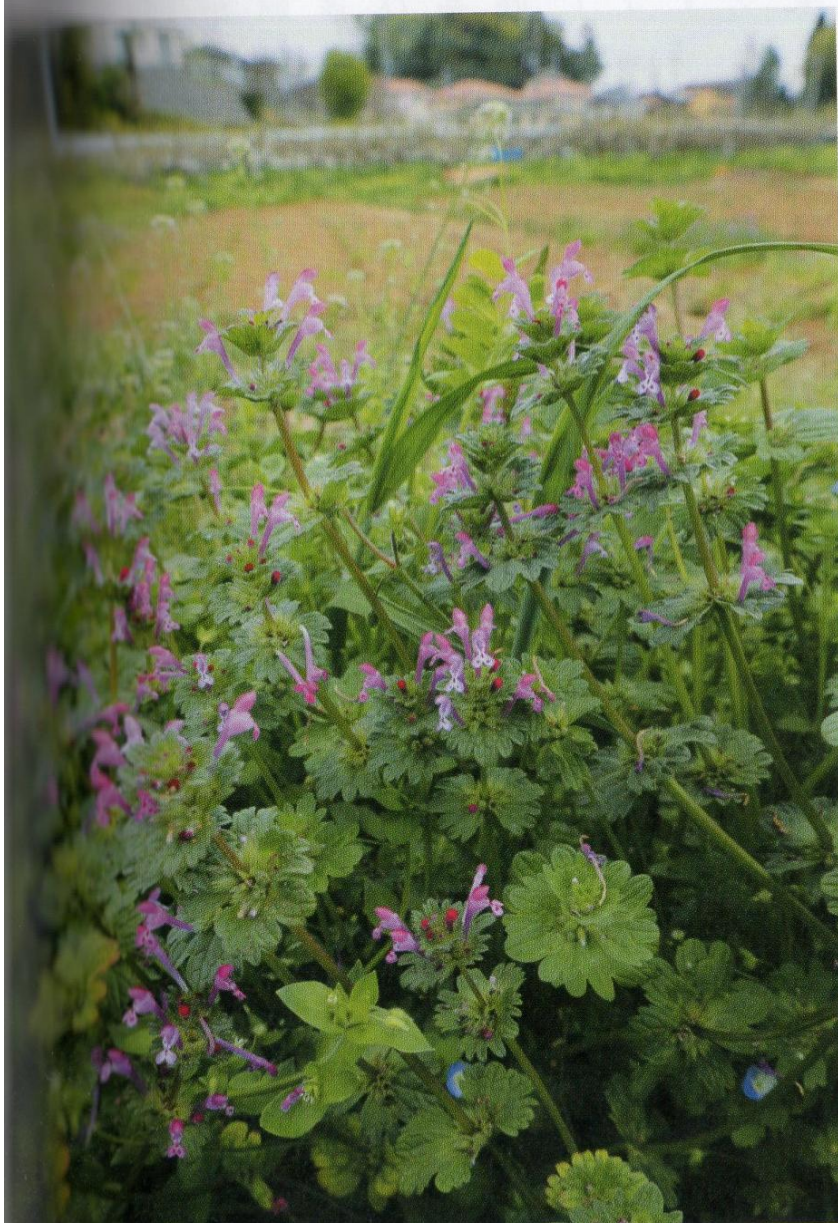


〈右〉花。中心付近は白く、奥は黄緑色。雄しべには花粉はない。〈左〉ポロリと分かれた鳞茎。

ムラサキカタバミは、種子を作る能力がありません。鳞茎。クローン増殖。

ホトケノザ

Lamium amplexicaule



葉は段状につき、葉の付け根から花が突き出る。



〈右〉花を拡大すると、オレンジ色の花粉が見える。
〈左〉葉の形から「仏の座」の名になった。

名前の由来は、葉が仏様のお座りになる蓮華座の形に似ているから。

オシロイバナ

Mirabilis jalapa



一年でここまで大きくなり、たくさんの花を咲かせる。



〈右〉花の中のアップ。花粉が目に見えるくらい大きい。〈中〉種子を割ると、中から白粉のような粉が。〈左〉花色のバリエーションは驚くほど豊富。

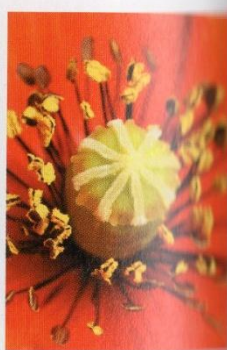
オシロイバナ（白粉花）の名の由来は、熟した果実を割ると、中から粉状のものがあらわれ、これを白粉に見立てたからです。

ナガミヒナゲシ

Papaver dubium



道路工事などほかの植物との競争がない場所に入り込むと、一気に増えてお花畑になる。



〈右〉雌しべの先端が傘の骨のようになる。
〈中〉花弁は4枚。花には黒い斑点があることもある。
〈左〉果実が長いから長実雑芥子。

ナガミヒナゲシの種子はとても小さいです。ひとつの花で種子を大量につくることができる。